

刊夕 日三月七



定額一圓五角... 廣告料五號十二... 日曜祭日の翌日休刊... 發行所 常磐寄日新聞社... 印刷所 常磐寄日新聞印刷株式會社

### 七夕傳説

藤澤 衛彦

七夕の夜、われ／＼のちやうど眞上にある星座は、北冠星及びヘルクレス星座で、所謂七夕の二星は、今では天頂より稍東北東に當る銀河の西岸、こゝに青色の強い光を放つ星が琴座星である。

（Vega（即ち織女星である）と天頂より東の方銀河の東岸（こゝに、光の強い赤色を帯びた星が見える。即ちそれが鷲座星である Altair の河鼓星即ち牽牛星である。）との彼方に位してゐる。

舊曆の七月七日になつても二つの星はなほわれ／＼の天頂へは來ない。七夕の二星がその頃南中する大約の時刻は琴座のα（織女星）が午後九時四十分頃、鷲座のα（牽牛星）が午後十一時頃で、七夕の夜、翼を擴げて天の川へ橋を渡す鶴と考へられた白鳥座のαは、午後十二時頃でなければ南中しない。

織女星、牽牛星（河鼓星）はもとより鶴の橋も當時の人達の眞上に來た。そこにひたすら天地自然を崇拜した原始時代の東洋人は、銀河に對して壯大なる感想を起したと共に、美麗な光を放つてゐる天頂の二セイに東洋人持異の思想から、人間の運命をホシの司配に結びつけて祈願の儀式を構成すると同時に、二セイに就ての特異の物語を制作した。それが永くわれ／＼の東洋人を司配した七夕物語の起源である。

兩岸に相對峙せる特異な二つのホシである牽牛星、織女星が然も相對峙してゐるのみでは如何にも寂しいあの二つのホシが相逢つたらどうであらう、二つのホシも相逢はまほしく考へてゐるに相違ない。と同情し、農桑時代の平民を代表せしめた御空のホシに、原始東洋人の心を及ぼして、やがてホシを以て人となし、折しも陰曆七月七日の夕、上弦の月が天の川の下流にかけられる頃、たまたま琴座の東を流るる白鳥座のαあたり、飛び來れる鶴を以て橋となし、二セイをして相聚會せしむるとしたものが所謂七夕物語であつた。其頃胎胚の傳説によると天河の東に美麗なる乙女が

平町才植小路  
大河内接骨院  
電五八八

品自慢と  
正直な値段  
自轉車・リヤカー  
フタバ商會  
新川町郵便局前

根本産科醫院  
（手術室完備 入院隨時）  
根本 莊次郎  
根本 貞雄  
電話三四番

外科 内臓外科 院長 安齊 徹  
X光線科  
新設  
産婦人科 醫學士 黒澤 廣  
▽入院隨意△  
平町 田町  
安齊醫院  
電話四七五

高久病院  
院長 醫學士 高久 忠  
副院長 新潟醫學士 赤羽 清  
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄  
内科小兒科 外科花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科  
平町田町 電話五二三番

具雨とケヨヒ  
敷島のヒヨケ如何にと人とはば  
敷島トテ島敷  
日 店舖用、事務所用  
除 御座敷用、其ノ他  
具 トラック用、馬車用シート  
作業用、各種雨衣  
朝日夕日に便利なるかな

東北興業株式會社並ニ東北振興電力株式會社株式募集  
資本金總額 各 金參千萬圓  
壹株ノ額面金額 金五拾圓也  
募集 株式數 各 拾萬 株  
申込 株式數單位 五株又ハ其ノ倍數  
申込 證據金壹株ニ付 金貳圓五拾錢  
申込 期間 自昭和拾壹年七月拾四日  
至昭和拾壹年七月拾七日  
（但シ期間中ト雖モ締切コトアルベシ）  
應募 株式數カ募集 株式數ヲ超過シタル場合ニハ設立委員ニ於テ適宜割當決定ス  
金拾貳圓五拾錢  
昭和拾壹年八月貳拾五日  
申込 取扱銀行 株式會社 七十七銀行平支店  
電話 四一三四番

# 苦勞の種をまく

## 長降の雨

### 各方面に相當の痛手

### 眞夏一步前の憂鬱さ

昨日で梅雨は明けたのに依然としてけふは憂鬱なお天気小名濱測候所でも氣を揉んで朝鮮沖にある七四六ミリの低氣壓が東北東に進み明日は日本海へ移動するから小笠原附近高氣壓から南風が吹きこみ温度も上昇し次第に恢復するとの觀測であるが長降りの霖雨は各方面に相當痛手を與へたらしく先づ其日暮しの筋肉労働者が悲鳴を擧げたのを初め、海水浴場も農村も生活戦線の迫害が容易でなく各種のスポーツも沙汰止みとなり鮎漁にまで祟つて愛釣家を泣がす等盛んに苦勞の種を撒き散らした

## 小麥高値の

### 喜びも夢に

### 長雨に刈取不能

品質の低下を豫想さる

郡下の小麥刈り取りは全部を通じて五分通りであり刈り取適期中にあるに拘らずこの旬H來の霖雨に刈り取り不能となり耕作者は天を仰いで長歎息の有様で未刈

## 海水浴場も

### 今は大弱り

### 恨めし氣に

### 天を仰いで

連日の梅雨に惱まされつ●も石城の四倉、小名濱、勿

來等の各海水浴場は旅館は勿論各町當局までが夏の準備に忙はしく既に七月に入

## 夥しい出水で

### 鮎漁依然絶望

冷害から伸びも悪い

ヤット三寸五六分位

解禁第一日鮎漁の失敗は昨報如くであるが其後好漁地鮎川の鮎漁は連日の降雨がたり夥しい出水でいままは河流が常態に復せず四時川一帯は東京方面から愛釣家約九十名が殺到してゐ

が何れも收穫少なく江戸澤橋一帯の如き水濁りから殆ど釣獲絶望に更に伸びも發育期五月中の冷害からやつと三寸五六分と近頃にならない不漁である

## 平窪から平へ

### 縁の架け橋

幕の内橋が竣工し

其の名も平橋

よりも若干良いと

既報平明と平窪村をつなぐ幕の内橋は過般來夏井川改修事務所の手により鋭意架替工事中であつたが大体完成する十四、五日頃盛大な渡橋式を舉行する事になつたが平町との合併前提として「たひら橋」と命名する由尙新橋は幅員四米延長百七十米の木橋で●●な尼子橋

縣立校を視察 白河高女清水教諭は今三日來平磐中、磐女を視察した

郡内唯一の 過般來小麥乾燥場 工事の好問村上好問農事實行組合の郡内唯一の小麥乾燥場は

此程竣功來る七日縣農會白木技師が視察の爲め來郡する由

## 飢餓線上の

### 細民の脅威

### 昨今の米價高

### 各方面に悲鳴

大正七年以來の昨今の米價奔騰は都市の勞働階級のみならず一般消費者を深刻に脅威するに至つたが米價高は延へて大小麥は勿論他の物價の昂騰となりつゝあるのてまた表面化せざるも飢餓線上に悲鳴をあげつゝあるもの少なからず郡下の農村等も昨今漸く大小麥の收



穫期に入つたのと春蠶の收入等から高値よりやゝ愁眉を開きざるも食農級は他方飯米として高い米を買はねばならず穀價高を喜びゝるは大地主に限られざる觀ありこの矛盾が如何に推移し行くか注目されてゐる

## 保育事業講習

縣社會事業協会の社會事業並に保育事業講習會は來る八月六、七日の兩日小名濱に開かれるが講師は東京帝大助教教授青木誠四郎氏である由

## 荷路夫信用組合總會

荷路夫信用組合は過般創立總會き第一回の拂込を終

## 時計



高橋時計店 小町二丁目 小店村募集委細面談。

## 北川外科

平町新川町 醫學博士北川若夫 電話四六四

## 營業開始

大衆奉仕を念願し社會中層の業を開始致しました。調度品一切新調、室内電話の設備あり

眺望並に清新の氣分 於此に遜忍むるに適當な處と存じます

室賃を主とし 經營致します故御食望みに依り差上げる設備もありません

茶代は勿論申受けません。何卒御引立の程を願ひます。

平郵便局通り (吉田新聞店前)

や よ ひ 館

【電話七六番】

## 初夏!

車は走る新緑の中!

微風のごとくスイート走る

三井タクシーの乗心地よさ

是非御用命の程を!

三井タクシー 電話 586 番

# 奇禍の青沼町長

## 全く元気を回復

### 面會謝絶も解かれて

#### ▽経過が極めて良い

(昨報)平野ホームで奇禍を招いた平野町長青沼太郎氏は市原醫院で療養に努めた結果けふは平熱となり呼吸や脈膊も全く常態に復する等経過頗る良好で古稀の老齡に拘らず常に健康体である爲め院長も舌を捲く程の元氣で最初は治療二週間を要すと入院の診断であつたが此の分では豫定よりも餘程早く快復すると見られ「面會謝絶」の貼り紙も昨日一日限りで姿を消し食べ物も固形物をドシ／＼運べる様になつたとの事に一般も愁眉を開いて居る

### 縣視學の

#### 郡内視察

村田本縣視學は既報の如く郡内各小學校視察の爲め昨二日來郡、直ちに赤井第一小學校に向つたが今三日よりの視察日程は左の如くで十一日歸廳の豫定  
三日小名濱 四日平第一 五日湯本 六日同 七日湯本尋 警崎第一 八日警崎尋高 同第二 九日泉 渡邊 十日錦 山田 十一日飯野

### 失戀の女給

## 死の家出

### 睡眠薬を買ひ

#### 其後の足どり不明

平野警察署通りカフェー米久事志賀カツヨさん方女給北海道生れ菊地アサ(九)さんは昨日午前六時頃主人と同僚のヨシ子さんとに宛て「色々な事情があり母の墓前で死にます」との遺書を残し家出したのを問も

なく發見騒ぎとなり足どりを調べた處内郷村綴驛前山口薬店からカルモチンを買ひ求めた迄は判つたが其後は否として分らず平野署に捜査方を願ひ出たが失戀の結果らしいと

### 女教員の視察

#### 石城

第三區女教員會代表平第一平塚訓導外四名は野報の如く今三日平野午前五時十五分で平第一篠山校長に引卒業東京及び千葉方面に於ける教育視察の爲め出發し

### 酌婦劇薬をのむ

#### 苦悶中を發見さる

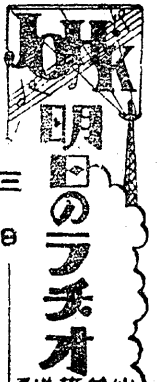
#### を行つた

入遠野村大字人遠野字後石生れ目下埼玉縣浦和市四三〇料理店常盤屋原栗原梅次方酌婦金次郎長女折笠トシ(三)は去る一日午後九時頃クレゾールを嚥下自殺を圖り苦悶中を發見され目下加療中だが生命危篤、今三日植田署に引取方通知あつた原因は厭世感から

### 中堅農民

#### 現地講習

石城郡農會中堅農民講習會は近く矢吹ヶ原修練農場の見學を行ふ事になつたので柴田技手は来る七日打合せの爲め出張するが尚今三日は神谷農試分場で現地講習



今晩は南西の風  
明日は南の風晴  
一時曇

明日の報  
前六、三〇 基礎佛語講座  
丸山頼太郎  
前七、〇〇 朝の修養「道  
歌清談」(終)八波則治  
前八、〇〇 家庭講座  
「植物栽培に軽石を利用  
して」玉利率次郎  
後九、〇〇 米國獨立祭記  
念日米交際放送 兩國よ  
り講演と音楽  
後二、〇〇 家庭講座「不  
良兒とその家庭」安島八  
郎  
後六、〇〇 幼児への昔噺  
「モモタラウ」オハナシク  
ラブ

後六、二五 青年の時間  
「現代青年氣質」杉森幸次  
郎  
後七、三〇 和洋合奏 東  
洋管絃樂團  
後七、五〇 地唄「けしの  
花」富春よし  
後八、〇五 哥澤 哥澤芝  
勢以  
後八、二〇 ラヂオコメデ  
イ「大番頭小番頭」古川綠  
波一座  
後九、〇〇 時事解説「ア  
メリカの税制整理と國際  
金融問題」下田將美

今晩の部  
後六、〇〇 お話「魚形水  
雷」有光敬三  
後六、二五 基礎英語講座  
鹽谷榮  
後七、三〇 講演「東北振  
興特殊會社の設立に就い  
て」松井春生(秋田)  
後八、〇〇 物語「湖上の  
た

菊田衛生協議 菊田  
方部の衛生主任會は昨日午  
後一時から植田署樓上會議  
室に開き夏季衛生に關する  
件及び傳染病の對策に就い  
て種々協議した

各校學力者査 平第  
一校は来る十五日から三日  
間、同第二は二十一日、同  
第三は十六日から三日間各  
一學期の學力考査を行ふ由  
一

平職業紹介所報告  
回 人を求める方  
△外交販賣員 廿五才位  
給料歩合 尋卒  
△女中 廿五才迄 月給五  
圓位外仕着 尋卒  
△座敷女中 卅五才迄 月  
給五圓外テップ  
△女中 四十才迄 月給四  
圓  
回 職を求める方  
△精米夫 二十四才 尋卒  
△コック 廿九才 尋卒  
△料理人 廿五才 高一修  
△荷上人夫 卅二才尋四修

### 空巢捕る

#### 抽斗から金

神谷村上片寄日雇業岩田文雄(三)は去月二十九日夜飯野村北白土農鹽友藏方に忍び込み筆筒の抽斗から現金七圓餘在中の墓口を窃取した外數件の空巢を働いた事發覺二日平野署に檢舉された

### 啞者の家出

#### 東京

市目黒區駒場町渡邊行雄(三)は去る五月三日夜突然家出行方を晦ましたが同人は生來の啞啞で郡内に流れ込んだ形跡があるからと今三日實家から平野署に搜索願が來た

### 裁判一束

△平南町七一無職佐々木利久(三)は去る四月三日午前一時頃植田町本町飲食店美喜屋事野野ハツさん方で飲酒料金の事から同店の主人と口論の末傍らにあつた椅子で同人を毆打全治十日間を要する傷害を與へ中島判事から罰金二十圓  
△川部村大字小川字八幡前三五炭礦探炭夫蛭田幸太郎(三)は三月二十八日午後二



靈効散  
胃腸藥  
を御試し下さい

## 阿康藥局

電話 四四番  
振替口座 東京三〇〇三

御子様方には飲み易い小兒靈効散があります





丸尾至陽(著)

一六三 江戸兒の標本

天野八郎は彰義隊が敵を  
かるく見るやうではこの戦  
は勝利を得ることはむづか  
しい。官軍は兵をうごかし  
て今にもせめ入るやうに見  
せて我軍を奔命につからし  
め、その虚に乗じてにわか  
に兵を出すに相違ない。さ  
すれば防備は一層嚴重にせ  
ずばなるまいとこういひま  
した、さすがに彰義隊の首  
領として眼識が高い、それか  
ら神田旅籠町にゐた上野出  
人の商人三河屋幸三郎と呼  
びよせた、この三河屋の主  
人は江戸ッ兒の標本になる  
人物、明治廿七八年頃世  
を去つたがそれまで奮をつ  
けてゐた、しかし頑固では  
ない、頑固と申すと舊式に  
聞えますが思想も新しい、  
といふのは外國人を相手に  
取引をしてゐることゝて英  
語も話せる、自然と外國の  
事情にも通じます、それに  
ついてお話し申すことがあ  
る、明治初年の英學者で本  
所相生町に私塾を開いてゐ  
た尺振八先生などは米國に  
長くゐて新しい教育をうけ  
しかも經濟學者、この人の  
門からは田口卯吉、沼間守  
一、高梨警四郎その他明

時代に盛名を馳せた人物も  
出ました、西郷隆盛の弟小  
平などもこの尺の塾にゐた  
私の兄などもこの塾で學ん  
だもので、私の家へ西郷小  
平さんが折々遊びに来て私



におもちやの大砲を買つて  
来てくれたことがある。明  
治十年西南の戦争で戦死  
したたがかういふ人物も尺  
先生の塾にゐた、この尺先  
生もよくわたしの家へ来た  
が洋服を着たことを見たこ  
とがない、毎時袴羽織、そ  
れに草履をはき日本犬を供  
にしては來ました、先生は  
はく、近頃は洋犬を飼うも

のが多いが日本の犬は洋犬  
にまさつてゐる、またして  
みさへすれば洋犬と同じや  
うな藝をする、おれは日本  
人だ、學問は新しいがし  
かし魂までも外國人にはな  
らぬといひました、それと  
同じで三河屋幸三郎も外國  
人と取引はしてゐるがバタ  
くさくはならない。あるイ  
ギリス人が幸三郎に日本刀  
を持つて來いと注文した時  
に  
幸三郎を賣ることは出來ま  
せん、あなたの國は文明國  
だなどと威張つてお在なさ

る、それはすべて日本より  
進んで居りませうが刀はか  
り日本にまさつたものは  
出來ませないドイツなどは  
日本の刀を溶かしてそれに  
用ゐた地鐵を研究してゐる  
さうですが、それでも日本  
刀程の斬味のよいものは出  
來ないさうです、して見れ  
ば刀は日本の寶、賣ること  
は出來ませぬ

○「イヤお前は買らぬとし  
ても他の人は買るではない  
か」  
幸三郎は人、われはわれ、  
人がするからといつて國寶  
を外國人に賣ることは出來  
ませぬ、何れあなたの國と  
日本と戦うこともございま  
せう、その時に日本刀の斬  
れ味をよく御覽なさい、私  
が今まで賣り込んでゐる品  
物は書畫や骨董品こんなも  
のはなくなればとて日本人  
の意氣のおとろへることは  
ありません、刀は日本の魂  
如何にまふけるを以て商人  
の本意とすればとて刀は賣  
れません、私は日本人でこ  
ざいますから」  
とかういつて断つたそ  
の氣質をよく知つてゐる天  
野八郎、幸三郎を彰義隊の  
詰所にまねぎ  
八「三河屋、いよ／＼戦ひ  
になるぞ」  
幸三郎は戦ひになりますかえ、  
それはお目出度いことです  
な、武士が戦ひなさるはこ  
れは商賣、私が品物を賣る  
と同じやうなものです」

|       |       |    |   |   |   |        |
|-------|-------|----|---|---|---|--------|
| 店主が店員 | を連れて行 | か  | 正 | 正 | 正 | 平・田町   |
|       |       | れる | シ | シ | シ | レストサロン |
|       |       |    | イ | イ | イ | 電三五二番  |
|       |       |    | 酒 | 喫 | 酒 |        |
|       |       |    | 場 | 茶 | 場 |        |

## 美味！ 芳醇！

# 宗正らひた

山崎合名會社  
電話一〇番

## 三井吳服店の夏衣大賣出し

涼味溢る、夏の御召物、京吳服、ジヨゼット、中形全店夏の商品豊富大特賣

|          |        |        |        |
|----------|--------|--------|--------|
| 本染モスリン着尺 | 金貳圓五十錢 | ホロカヤ   | 金參拾錢   |
| バラマウンツ着尺 | 金貳圓五十錢 | 呂九     | 金參圓五拾錢 |
| 手拭       | 金貳圓五拾錢 | 絹麻     | 金參圓    |
| 浴衣       | 金七拾錢   | 絹ボーラ   | 金六圓五拾錢 |
| 名古       | 金壹圓    | 夏掛フットン | 金壹圓六拾錢 |

御中元贈答用品大奉仕  
御格恰な御値段の商品が豊富  
入荷致しました如何様にも  
承ります

婦人俱樂部掲載總額壹萬圓大懸賞付  
千代きぬ明石大賣出し  
本染中形陳列會

雑貨洋品部新設  
御子様方のパンツ、夕オ  
ル製品、既製品服地など  
ハ新製品豊富に取揃へ大  
奉仕

かや大賣出し  
ほろかや綿、本麻かや、  
白かやの別選品を大々的  
大廉賣致します

町 平  
店服吳井三  
番四八二 八三話電

## 久全屋商店

磐城セメント會社特約店

磐城平町五丁目 電話九九九

□良品廉賣に勝る商略なし  
□確實敏捷は久の生命なり

## ホニイ

九ミリ半 小型活動寫真機

◇改良された前進號  
撮影機 25.00  
映寫機 24.00

(カタログ進呈)

平二・電 3

## 西村屋藥局カメラ部